

# 中村設計新聞

## 第六十九号

六月十六日(土)晴れ

今月は陶芸家の窯元見学と、近江化学陶器(株)にてタイルについての座学セミナーと工場見学をしました。

### ○はじめに

六月の土曜研修は、(株)小木曾タイル様、(株)リクシル様にご協力を頂き、近江化学陶器(株)にて、タイルについての座学セミナーと生産工程の見学をさせて頂きました。

また、信楽の陶芸家の高橋楽斎さんの窯元の見学もさせて頂きました。

### ○スケジュール

- 京都駅 集合
- ← JR 京都駅 発
- ← JR 貴生川駅 着
- ← 信楽高原鉄道 貴生川駅 発
- ← 信楽高原鉄道 信楽駅 着
- ← 高橋楽斎窯元 見学
- ← 近江化学陶器株式会社 着
- ← 昼食
- ← 座学セミナー
- ← 湿式タイル製法について
- ← 施工事例
- ← タイル工場 見学
- ← 信楽駅にて解散



### ○高橋楽斎窯元について

高橋楽斎さんは、古信楽の作風を基調に、茶陶から花器や食器など幅広い仕事を手掛けられている甲賀市在住の陶芸家です。



高橋楽斎さん

楽斎窯の家業を守りながら、現在は個展や企画展を中心に活動しております。大壺に定評があり、信楽の土味や薪窯焼成の焼味を生かした、素朴で穏やかな作風が特徴です。



窯内の温度や置き方で色が変わったり、ビードロがでてきたりするそうです。



現役の登り窯や蛇窯を見せて頂きました。高橋さん自ら作られているそうです。



### ○座学セミナー・工場見学

近江化学陶器株式会社は、創業明治7年2月、生糸用蚕糸鍋の製造から始まり、昭和34年6月に外装タイルの製造を開始、現在は湿式成形によるタイルの製造を専門とされています。

今回は、普段なかなか見れない貴重な工場内の見学をさせて頂きました。



工場見学の前に、座学セミナーへ。



大量の施工事例サンプル。



見学に先立ち、工場の概要やタイルの知識を勉強。



昔のタイルサンプルまで見せて頂きました。歴史を感じる・・・



2つが一体に焼きあがった役物タイルを叩いて、分離する体験をしました。



分離！ あれ、ちゃんとできたかな？

### ○レポート

はじめて目にするタイルや試作品が多数あり、とにかく驚きの連続でした。座学セミナーでは、施工事例を基に、多様なタイルを紹介頂き、実物のタイルを見て触れて説明を聞いたことで理解が深まりました。

工場見学では、生産されているタイルを実際に目にして、多くの手間がかかっていることが肌で感じられました。



信楽町の有名な狸の前で、にっこり記念撮影！

### ○まとめ

座学と工場見学を通して、より一層タイルについて知識を深めることができました。またタイルの仕上材としての幅広い可能性を感じました。この度は、貴重な機会を頂き所員一同、御礼申し上げます。今後も視野を広げ情報を積極的に取り入れ、設計に活かしていきたいと思っております。